

2019年度

自己点検・評価報告書  
—各分掌・委員会の点検と評価—

帝京学園短期大学  
自己点検・評価委員会

## 学校法人の概要

### ◆ 教育機関名

学校法人帝京学園 帝京学園短期大学

### ◆ 所在地

小淵沢キャンパス 山梨県北杜市小淵沢町 615-1

山梨市キャンパス 山梨県山梨市上神内川 1150-1

### ◆ 学校基本調査データ (2019 年度)

入学定員 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率 (%)	収容定員 (人)	在籍者数 (人)	収容定員 充足率 (%)
50	56	112.0	100	106	106.0

卒業者数 (人)	退学者数 (人)	休学者数 (人)	就職者数 専門職 (人)	就職者数 一般職 (人)	進学者数 (人)
48	3	3			2

### ◆ 資格取得に関するデータ (2019 年度)

幼稚園教諭 免許状取得者数 (人)	保育士資格 取得者数 (人)	児童厚生員 2 級指 導員資格取得者数 (人/受講者数)	自然体験活動指導 者資格取得者数 (人/受験者数)	ピア・ヘルパー認 定試験受験資格 (人/受験者数)
40	44	1/1	53/53	1/8

## 学習（修）成果の評価と具体的な実施方法

3つのポリシーに基づき、大学全体レベル、学位プログラムレベル、授業プログラムレベルの3段階で学習（修）成果の評価方法を列挙した。

	具体的実施方法		
	入学段階	在学中（単位認定）	卒業時（卒業後）
	アドミッション・ポリシーを満たすかの検証	カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているかの検証	デュプロマ・ポリシーを満たす人材であるかの検証
大学全体レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種入学試験</li> <li>調査書等の記載内容</li> <li>面接による評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生生活アンケート</li> <li>学修状況調査</li> <li>ジェネリックスキル評価</li> <li>退学率</li> <li>休学率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学位授与の取得状況</li> <li>卒業率・退学率</li> <li>就職率</li> <li>卒業時アンケート</li> <li>*卒業生からの評価（今後検討）</li> </ul>
学位プログラムレベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種入学試験</li> <li>調査書等の記載内容</li> <li>面接による評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPAの平均値・分布</li> <li>単位取得状況</li> <li>学生生活アンケート</li> <li>ジェネリックスキル評価</li> <li>学修ポートフォリオ</li> <li>学修状況調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学位授与の取得助教</li> <li>GPAの活用状況</li> <li>単位取得状況</li> <li>資格・免許の取得率</li> <li>公務員合格率</li> <li>専門領域への就職率</li> <li>卒業時アンケート</li> </ul>
授業科目レベル		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業科目の成績評価</li> <li>授業評価アンケート（授業科目の到達目標を、学生がどの程度の水準で出来ているかを明らかにする）</li> </ul>	

\*2019年度「卒業時アンケート」は、卒業式中止に伴い未実施

# I. 教務担当—大学評価委員会・学外第三者委員会に関する取組み

## 1、本年度の計画(P)

- ①シラバス検討委員会(前期・後期)の開催
- ②自己点検評価に関する検討
- ③認証評価の受審に向けた組織の検討

## 2、取組状況(D)

計画	取組状況	根拠書類
①シラバス検討委員会(前期・後期)の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生による授業評価の実施</li> <li>・シラバス検討委員会を実施し、学生による授業評価及び各教員による各教科のPDCAシートの基づく授業改善計画が報告された。</li> <li>・教員相互(非常勤講師を含む)の意見交換を行った。</li> </ul> <p>9/6(金) シラバス検討委員会 3/27(金)シラバス検討委員会(中止)</p>	前期授業アンケート結果 前期シラバス検討委員会議事録 後期授業アンケート結果 教員別PDCA評価シート
②自己点検評価に関する検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1から2回開催される教務担当者会議に於いて、学内外の動向に関する学習及び情報共有を通して、教育の充実のために必要な課題の把握に努め、慎重に審議を行った。</li> <li>・各分掌からの報告や提案に対しても検討を行い、日常的な教学の遂行に務めながらも、国が進める大学改革にベクトルを合わせ、教職員会で報告・提案を行った。</li> <li>・年度末にあたり、1年の省察としてPDCAに基づく自己点検評価表の依頼を各分掌に行い、点検を行った。</li> </ul>	自己点検評価報告書
③認証評価の受審に向けた組織の検討	短期大学基準協会による認証評価を2022年の受審に向けて、評価規準や受審にかかわるスケジュール等について校内説明会を実施。役割の分担および確認を行った。	短期大学基準協会認証評価にかかわる教職員説明会資料(2019.4)

## 3、点検・評価(C)

・年度当初の予定では、「教育の質の転換」に向けた計画を立てていたが、キャンパスの移転や新教育課程の編成などに時間が割かれ思うように計画が実行できなかった。特に組織運営の活性化に関する事項や、教育の内容・教育方法に関する取組みの中で、検討が必要な状況となった、

## 4、次年度への改善計画(A)

- ・半期ごとの点検サイクルの確立を行い、教育の質の転換に向け計画的に進める。
- ・認証評価受審に向けたロードマップの作成と準備開始

## Ⅱ. 教務担当一単位の履修・評価・など教育課程全般に関する取組み

### 1、本年度の計画(P)

- ①教職再課程認定に向け、適切な整備を行う
- ②保育士養成課程の見直しにかかわる、教育課程の見直しに向けた検討
- ③履修系統図・ナンバリングの公表
- ④学生の学修(習)成果の可視化に向け、具体的な取組の検討
- ⑤成績の厳格化に向けた評価規準の検討

### 2、取組状況(D)

計画	取組状況	根拠書類
①教職再課程認定に向け、適切な整備を行う。	教職課程再課程認定に向けて、教育職員免許施行規則に定める科目の開設について整備した。	教育課程表 教員会議事録 学則変更届 シラバス
②保育士養成課程の見直しにかかわる、教育課程の見直しに向けた検討	保育士養成課程の見直しにあたり、科目の新設、教授内容の確認、実習基準の見直しを行い、「系列」と「各教科目」を整備した。	教育課程表 教員会議事録 学則変更届 シラバス
③履修系統図・ナンバリングの公表	教育課程の編成に伴い、ナンバリングの再検討を行った。合わせて履修系統図(案)の作成・検討。教育課程確定後に正式に決定の予定である。	シラバス
④学生の学修(習)成果の可視化に向け、具体的な取組の検討	学生自身が学びの軌跡を振り返、可視化できるツールとして「学修ポートフォリオ」の開発を行い、その運用を始めた。学習成果を量的・質的データを用いて測定し、可視化出来るように作成。	教務会資料 教職員会資料 学州ポートフォリオ
⑤成績の厳格化に向けた評価規準の検討。	昨年度策定した GPA 制度に基づき、学生生活の手引きでの周知を図った。 GPA の活用については、進級判定・卒業判定及び学生表彰の基準として活用した。	シラバス 学生生活の手引

### 3、点検・評価(C)

教職課程再課程認定に向けコアカリキュラムに沿った教育課程の編成に多くに時間を費やした。段階を経ての意向となるが、コアカリキュラムの編成はほぼ終了。単位の実質化と CAP 制への対応も踏まえ、大学として特色ある科目の検討や、教養科目の充実に向け、調整を図る必要がある。

### 4、次年度への改善計画(A)

- ・新教育課程の確定と、それに伴うカリキュラムツリーやカリキュラムマップの具体化、デュプロマ・ポリシーの再検討と、カリキュラム・ポリシー、アセスメント・ポリシーの策定。
- ・学修ポートフォリオの検証と見直しを実施し、授業内容の改善や、学生支援の改善に向けた検討を行う。
- ・教育の質の向上に向けた、具体的な実践や導入を進める。

### Ⅲ. 教務担当—教育実習・保育実習及び資格取得に関する取組み—

#### 1、本年度の計画(P)

- ①実習日誌の見直し
- ②実習の手引きの見直し
- ③実習評価表の見直し
- ④体験実習の見直し
- ⑤山梨市キャンパス移転に伴う実習サポート室の整備

#### 2、取組状況(D)

計画	取組状況	根拠書類
①実習日誌の見直し	実習日誌の改定。書式については、担当者会議で検討し、実習園での多様な対応を可能とする従来の形式を踏襲。今後は現場との調整を図りながら、実習の充実に向けて検討を行う。	実習担当者会議録
②実習の手引きの見直し	実習実施基準の見直し、教職課程・保育課程の見直しを受け、実習の手引きの見直しを行った。指導案の内容、実習日誌の事例など、多くの課題が指摘されたが、市販の手引きの活用なども含め、今後も継続して検討を行う事とした。	実習担当者会議録
③実習評価表の見直し	保育実習実施基準の変更、ミニマムスタンダードの提示、保育所連絡協議会、数年間の実習先からの要望や、実習先における職場環境の見直しに伴う意見などを勘案し、実習評価表の見直しを行った。	2019年度保育所連絡協議会資料 教職員会議資料 (2019.7.26)
④体験実習の見直し	従来実施していた1年次6月の見学実習を廃止し、8月のオリエンテーション時に2日間のボランティアを実施することとした。 保育実習Ⅰについては、10月に実施の2日間の日程を固定し、全員一斉に実習を行う形に変更した。	教職員会議資料 (2019.4.05)
⑤山梨市キャンパス移転に伴う実習サポート室の整備	新キャンパスへの移転に伴い、実習サポート室の整備を行った。	

#### 3、点検・評価(C)

・保育実習実施基準の改正や、帝京科学大学実習担当者との情報交換会、連絡協議会などによる現場の声を反映し、実習に関する日誌、評価表、手引き、実習体制などの見直しを行った。今後は、変更に伴う実習評価や実習先からの意見も伺いながら、多様化する保育の現場に対応できる専門性の高い保育者の養成に向け、見直しと改善を繰り返す必要がある。

#### 4、次年度への改善計画(A)

- ・山梨スタンダードの様な形で、実習先との連携を図りながら、各種書式について整えていきたい。

## IV. 教務担当・事務室—FD 委員会・SD 委員会に関する取組み—

### 1、本年度の計画(P)

- ①FD 研修会の計画と実施
- ②SD 研修会の計画と実施

### 2、取組状況(D)

計画	取組状況	根拠書類
①FD 研修会の計画と実施	7/20(土) 「私立大学経常費補助金説明会参加報告会」として、私立大学改革総合支援事業などに関わる研修会を開催した。	当日配布資料
	「厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」について研修会を開催し、概要についての説明を行った。	当日配布資料
②SD 研修会の計画と実施	7/18(金) 女性のための安心安全講座 地元企業「セコム山梨」との共同事業として、上記講座を学生と教職員に向け開催した。	研修会開催通知 当日配布資料
	高等教育修学支援新制度説明会の報告会を開催。新制度に関する理解と情報提供を行った。	当日配布資料

### 3、点検・評価(C)

- ・昨年度後期より検討を重ねていた、私立大学等改革総合支援事業に関して補助金の基本的な事柄について全体研修を行った。小規模な組織である本校においては実施が難しい事業も多いが、教育の質の向上に向け、教職員の情報の共有化に役立った。
- ・女性のための安心安全講座に関しては、SD 活動を通じて、学生支援の充実に役立った。

### 4、次年度への改善計画(A)

- ・学修成果・教育成果の把握・可視化により得られた情報の共有や課題について、多くの教職員の参画を得て進められるよう、教学マネジメント指針に基づく研修の実施。
- ・構成で透明な成績評価および信頼性の確保の観点からの教員間の共通理解についての研修の実施。

## V. 学生担当—学校行事・サークル活動・学生生活に関する取組み

### 1、本年度の計画(P)

- ①退学者を年5パーセント以内に抑える
- ②学生の自主性を高め、責任ある活動ができるよう指導する
- ③責任感、協調性、自主性を伸ばすよう指導する
- ④仲間同士の協調性を高める

### 2、取組状況(D)

計画	取組状況	根拠書類
①退学者数の管理	年間を通した学校行事の充実	友達月間資料
②学生委員会	年間を通した学校行事の充実	委員会資料
③ジェネリック	ジェネリックカード	ジェネリック評価表
④クラブ活動	なし	なし

### 3、点検・評価(C)

- ・校舎が1年と2年で分かれていたため友達月間の行事が減少せざるを得なかった。
- ・新たに設定されたジェネリック項目と学習成果との関連性が明確になっていないため各行事の目的が明確ではない
- ・校舎が離れていたため、1.2年生の意思疎通が図れる機会が限られていた。
- ・1.2年生の校舎が離れてしまい一部のクラブ活動しか実施できなかった。

### 4、次年度への改善計画(A)

- ・ジェネリック評価項目の見直しのエビデンスを明確化したい。新たな学習成果との関りが不明瞭である。
- ・体育系の活動を今後どうするか課題である

## VI. 学生支援に関する取組み(事務室・学生担当・教務担当)

### 1、本年度の計画(P)

- ① 学生生活調査の実施
- ② 学生に対する履修指導
- ③ 学生への修学支援
- ④ 学生の健康管理やカウンセリング体制の整備
- ⑤ キャンパス移転に伴う学生支援環境の整備

### 2、取組状況(D)

計画	取組状況	根拠書類
① 学生生活調査の実施	入学時に「新入生調査」を実施し、入学者の入学動機本校での学びに対する調査を実施。 年度末には、学生生活調査を実施し、学生の満足度調査を行っている。	学生生活調査票 学生生活調査集計表
② 学生に対する履修指導	入学者に対し、学習や学生生活のためのオリエンテーションを実施。科目の履修・資格取得に関するガイダンスを実施。教務担当とグループ担当によるフォロー体制をとっている。	オリエンテーション資料
③ 学生への修学支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な困難を抱える学生に対し、各種奨学金に対する説明会や、保護者を交えた修学支援の相談にのり、事例に応じた対応を行った。</li> <li>・小淵沢キャンパス女子寮の無償制度</li> <li>・山梨市キャンパスや家賃補助制度</li> </ul>	説明会配布資料 家賃補助制度規定
④ 学生の健康管理やカウンセリング体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は1年生が山梨市キャンパス、2年生は小淵沢キャンパスの W キャンパスとなったため、両キャンパスでの相談支援の体制を整え、カウンセラーの配置を行った。</li> <li>・学生担当とグループ担当による協働・連携による学生情報の共有に務めた。</li> </ul>	
⑤ キャンパス移転に伴う学生支援環境の整備	新キャンパスの改装に伴い、学生ホール、ゼミ室、開放的な学習空間や各サポート室など学生生活や学習支援のための施設整備に務めた。	

### 3、点検・評価(C)

- ・学生生活に関して学生からの意見や要望の聴取に務め、教職員会で情報の共有を図っている。
- ・移転に伴い、学生生活の充実や学習支援のための施設整備に務めた。

### 4、次年度への改善計画(A)

- ・学習上の困難を抱える学生の支援体制について検討の必要がある。
- ・学年を超えた交流や適切な指導助言を行う体制づくりのためのグループ編成の検討。

## Ⅶ. 就職担当—学生の進学や就職活動など進路全般に関する取組み

### 1、本年度の計画(P)

- ①就職希望の学生には、希望する職種、特に保育関係に進めるようにする。
- ②進学希望の学生には、学びたい学部・学科に進めるようにする。

### 2、取組状況(D)

計画	取組状況	根拠書類
①就職希望の学生	学生が希望する職種や保育関係に進む場合は、保育理念、学生自身の特技などを聞きながら、就職先を決めていった。	就職・進学内定先一覧
②進学希望の学生	進学希望の学生には、学びたい学部・学科に進めるようにする。	就職・進学内定先一覧

### 3、点検・評価(C)

・現在は、保育者が不足しているため、求人数も多い。しかし、今後少子化の影響で、求人数が少なくなることを考え、質の高い保育者を養成することを短大全体で取組み、就職につなげていきたい。

### 4、次年度への改善計画(A)

・実習も地元で行うことが多く、就職先も地元を希望する学生が多い。そのため山梨県をはじめ、地元の園とのつながりを大切に、情報なども多く取り入れられるようにしていきたい。

## VIII. 入試広報担当—学生の募集や入学試験など入学全般に関する取組み—

### 1、本年度の計画(P)

- ①本学の特色及び魅力の発信
- ②保育科での学びの理解
- ③ホームページの充実
- ④移転先の近隣の高校とのネットワーク作り
- ⑤入学定員の確保

### 2、取組状況(D)

計画	取組状況	根拠書類
①本学の特色及び魅力の発信	年5回オープンキャンパスを開催し、模擬授業や大学説明会を実施した。	実施要項 アンケート調査結果
②保育科での学びの理解	進学者者を通して高校内説明会や会場説明会におもむき、保育に興味のある高校生に保育科での学びやその先の就労について説明をした。また、業者が発行している進学冊子やインターネット進学ナビ等に参加するなど、様々な方法で高校生に保育科について知ってもらう機会を設けた。	2019年度高校内説明会及び会場説明会 担当者参加人数一覧
③ホームページの充実	業者と連携してホームページの充実を図り、ホームページ内のブログやニュースをこまめに更新、学校での生活や活動を多くの人に知ってもらうよう努めた。	本校ホームページ
④移転先の近隣の高校とのネットワーク作り	山梨県、長野県の高校へは、年3回程度入試に関する資料を持参しているが、本年度はさらに山梨市近隣の高校を中心に、ネットワーク作りに努めた。本学の特色や魅力、在学生及び卒業生の動向、入試に関する情報等を示し、本学への理解を深めてもらう機会を多く設けた。	高校巡回一覧表
⑤入学定員の確保	上記①～④の結果、50名定員の確保に至った。	

### 3、点検・評価(C)

本学の特色および学びの発信として、毎回のオープンキャンパスにおいて個別相談会を設け、保護者や受験生一人ひとりに丁寧に対応した。また、高校の行事等でオープンキャンパスに参加できなかった生徒には、個別に希望訪問日を設けるなど柔軟に対応した。キャンパスの移転に伴い、近隣の高校とのネットワーク作りに務め、本学の特色や魅力、在学生及び卒業生の動向、入試に関する情報等を示し、本学への理解を深めてもらう機会を多く設けた。結果として、50名定員の確保に至った

### 4、次年度への改善計画(A)

- ・オープンキャンパス参加者の増加
- ・アドミッション・ポリシーを踏まえた入学前教育の充実(補完)
- ・高大接続改革に関する周知

## IX. 図書部—紀要研究委員会・図書選定委員会・図書館運営委員会の取組み—

### 1、本年度の計画(P)

- ①キャンパス移転に伴う山梨市キャンパス新図書室の整備
- ②学生に対する利用教育
- ③書架の排架本の見直し
- ④研究紀要の発行

### 2、取組状況(D)

計画	取組状況	根拠書類
①キャンパス移転に伴う山梨市キャンパス新図書室の整備	排架方法の見直し、サインの整備等を行った。	
②学生に対する利用教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションの一環として、希望者に図書館ツアーを行った。</li> <li>・アカデミック・スキル講座において、図書館の資料分類方法、図書室の利用方法等の説明を行った。</li> </ul>	アカデミック・スキル講座レジュメ
③書架の排架本の見直し	学校図書館図書廃棄規準を目安とし、小淵沢キャンパス図書室に排架されていた図書の見直しを行った。	
④研究紀要の発行	前年度3月実施の、シラバス検討委員会にて、研究紀要投稿に関する説明を非常勤講師を含む全ての教員に対し実施。研究紀要第 号を発行した。	帝京学園研究紀要 第 号

### 3、点検・評価(C)

・排架本の見直しは長年取組みが不足しており、今年度では見直しが終了しなかった。

次年度も引き続き取組みが必要である。

- ・学生の更なる利用を促す必要がある。
- ・アカデミック・スキル講座において、図書館の資料分類方法、図書室の利用方法等の説明を行い、文献検索に関する実践や、レポートの書き方に関する講義・演習を担当した。自主的なレポート作成課題を課し、希望する学生には添削指導を行った。
- ・実習指導のとの連携により、実習記録の図書館での閲覧コーナーの設置や、実習事後指導によるポスター発表の掲示を図書館エリアで行った。

### 4、次年度への改善計画(A)

- ・排架本の見直し。
- ・学生の更なる利用を促すための工夫を実践する。

## X. 子育て支援研究所他・地域貢献の取組み

### 1、本年度の計画(P)

- ①地域社会の行政・教育機関との交流活動の実施。
- ②教職員・学生によるボランティア活動を通じた地域貢献の実施。

### 2、取組状況(D)

計画	取組状況	根拠書類
①地域社会の行政・教育機関との交流活動の実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月：山梨市福祉と、今後の連携のあり方について協議した。</li> <li>・7月：本学担当者と山梨市役所子育て支援課長他と、今後の連携のあり方について協議した。</li> </ul>	
②教職員・学生によるボランティア活動を通じた地域貢献の実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月：山梨市子どもフェスティバルにて学生ボランティア参加、</li> <li>8月～9月：山梨県消費生活安全課との連携による食育推進ボランティアでの食育活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>8/9 甲斐市立竜王西保育園</li> <li>8/9 大鎌田保育園</li> <li>8/20 認定こども園なでしこ保育園</li> <li>8/23 南アルプス市立豊保育所</li> <li>9/26 南アルプス市立巨摩保育所</li> </ul> </li> <li>10月：山梨市社会福祉協議会祭りにてパネルシアター発表。</li> <li>11月：北杜市生涯学習センターにおいて、学生の作品(エプロンシアター)を展示部門にて発表。</li> <li>2月山梨市生涯学習発表会にて人形劇発表予定だったがコロナウイルス感染拡大防止の為中止、</li> </ul>	各実施要項

### 3、点検・評価(C)

- ・学生の社会的活動に関して、学修ポートフォリオに記載欄を設けたが、ICTを使用した記録については丁寧なサポートが必要である。
- ・学生が積極的に参加できるような支援体制の構築も考える必要がある。

### 4、次年度への改善計画(A)

- ・学生の社会的活動に対する評価についての検討。

## XI. 事務室の取組み

### 1、本年度の計画(P)

- ①業務見直しを随時行い、不断の経費節減に努める。

### 2、取組状況(D)

計画	取組状況	根拠書類
①業務の見直し。	・業務内容を見直し残業の削減を行った。	残業手当
②経費(研究費)。	研究費経費支給規程に沿って費用の支給がなされているのか確認した。	研究費支給願書、旅費申請書
③経費(物品購入)	物品購入の際、相見積やインターネットを活用して節減を行った。	伺書

### 3、点検・評価(C)

- ・通常業務については残業の削減を実施できたが、山梨市キャンパス移転に伴う業務が重なったため、予想を下回ってしまった。

### 4、次年度への改善計画(A)

- ・移転が完了したため、次年度は残業の削減を行う。